

神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立横浜氷取沢高等学校における学校運営協議会		
開催日時	令和7年7月10日（木） 15時00分～17時00分		
開催場所	本校会議室		
（役職名） 出席者	伊吾田 政宗（横浜市立富岡中学校副校長）〔代理出席〕 岡本 秀伸（能見台一丁目自治会長） 柏木 雅彦（金沢支援学校長） 金子 光則（氷取沢町内会長・上笹下地区連合自治副会長） 川出 道紀（関東学院大学 事務局次長） 末松 隆一郎（横浜市立さわの里小学校長） 根本 ゆう子（横浜市上笹下地域ケアプラザ所長） 福元 摩湖（神奈川大学事務局次長） 坪内 幸子（横浜氷取沢高等学校長）		
次回開催予定日	令和7年12月		
問合せ先	神奈川県立横浜氷取沢高等学校 副校長 坂本 電話：045-772-0606 FAX：045-776-2468 メール y-hitorizawa-h@pen-kanagawa.ed.jp		
下欄に掲載 するもの	・議事録 ・議事概要	議事概要とした理由	
会議経過	（協議） ・令和7年度 委員委嘱並びに会長、副会長選任 ・令和7年度学校評価報告書（目標設定）について ・令和7年度横浜氷取沢高等学校不祥事ゼロプログラム （委員からの主な質問及び意見） ・配慮の必要な多様な生徒に対してカウンセラーやソーシャルワーカー等による早期対応、サポートドックで相談先を持たない生徒へのプッシュ支援について今後も必要な生徒に対して、安心して相談できる体制整備を進めてほしい。 ・ICT活用は小中学校との連続性や指導のばらつきにも留意してほしい。 ・大学等でも合理的配慮を求めるケースが増えている。丁寧な対応と他の生徒とのバランス、専門家の活用などが課題である。生徒同士のコミュニケーション不足、人間関係の構築が不得手などが小中学校でも話題になっている。 ・主体的な活動について、地域との連携にも活かして、地域行事にも積極的な参加をお願いしたい。また交通機関の利用マナー向上もお願いしたい。 ・10年先を見据えた進路指導、ライフステージを考えた指導を今後も丁寧に進めてほしい。 令和7年度学校評価報告書（目標設定）について全会一致で承認。 全体会議後、学校評価部会、地域連携部会をそれぞれ開催。		
会議資料	・令和7年度学校要覧 ・令和7年度横浜氷取沢高等学校 不祥事ゼロプログラム		